

'14. 4. 29

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

たましろの郷後援会役員会

新年度が始まりました。たましろの郷後援会は、栗野が今年度も会長を務めます。よろしくお願いたします。

5月31日には2013年度の報告集会を行います。たましろの郷の活動を報告させていただく大切な機会です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

事務局より

・2014年度会員数…個人：474名（新規29名・再7名）493口

団体：9団体14口

2013年度会員数…個人：1084名（新規・再135名）1150口

団体：53団体105口

募金箱 273個回収 ¥1,411,636（4月7日現在）

※新年度の会員を募集しております！！みなさまのご協力をお願いいたします！！※

今後の予定

・5月31日（土）14:00～「2013年度報告集会」

@神明いきいきぷらざ 集会室A（洋室）

※浜松町駅・大門駅 徒歩4分

・7月26日（土）たましろの郷夏祭り

・8月17日（日）たましろフェスタ in 府中

地域やサークルで、たましろの郷についてもっと知りたい！

後援会はどんな活動をしているの？という声はありませんか？？

後援会役員がわかりやすく説明します！

興味のある方、ぜひたましろの郷後援会にご連絡ください！！

たましろの郷後援会事務局 担当：小嶋

TEL/FAX 03-5468-3613

e-mail tamasiro@athena.ocn.ne.jp

(文責 戸部)

広報班の活動報告**サークル訪問記**

～日本大学手話サークル PEACE 訪問記～

今年2月26日（水）、日本大学手話サークル PEACE（ピース）に訪問してきました。

1月にあった都サ連一日研修会に、それまでコンタクトがとれていなかっただけにもかかわらず、慶應大学 MiMi を介して参加があった団体です。場所は、京王線の下高井戸と桜上水の間程にある、日本大学文理学部キャンパス。広報班山崎さんと、私こと大木の2人で春休み期間中の勉強会に参加見学させていただきました。

普段は毎週月曜、水曜の夕方18時からの活動ですが、春休み期間中のため昼の11時からの開催でした。正門から、都サ連一日研修会にも来られた涉外担当の方に案内していただきました。その日は PEACE の代表の方が進行を務めており、主に冬季オリンピックに関連した一文を手話で表し、その内容を穴埋めで読み当てていくという勉強方法でした。2つのグループにわかれ、遅れて集まってきたサークル員も随時加わりつつそれぞれが一文をいくつか考え、グループごとに壇上で声無しや声有りなどの段階を付けながら表現し、もう一方のグループが内容を当てていくという流れでした。振る方も読み取る方も自身の知っている手話表現を必死に思い出しながら頑張ってる様子を、私や山崎さんも参加しながら応援していました。

勉強会の終わりに私と山崎さんと、学生サークルに対して目を向け始めたきっかけや、考え方の押しつけやお金が目的ではないことなども含めた都サ連の案内紹介をさせてもらい、また帰り際に地域のサークルの門戸の話などもしながらひとまず解散しました。

勉強会の後も、昼食を挟んで目前に控えた合宿の打ち合わせなどするというので、私だけまた昼食まで同席させてもらいました。勉強会に参加していた10名程の仲間達がそのまま学食の一角を陣取り、各々雑談に興じたり、みんなでネットで流行の企画に参加したりと、和気あいあいと過ごしていました。

活動中もお互いにフォローし合い、休憩中も交流が深まっていく、のんびりと仲の良い、部活動のような雰囲気がよく伝わってきた、日本大学手話サークル PEACE でした。

(文責 大木)

福祉対策会議報告(3月3日,4月7日)

(3月3日)

- ・東聴連より。耳の日記念文化祭(3/1~2)が無事終了、協力に感謝。参加者は500人減。集客について課題が残った。行き届かなかった点はお詫びを。
- ・2/12、東聴連は東京都と「災害時における手話ボランティア支援に関する協定書」を再締結。
- ・中難協は、2/23(日)「聞こえの商店街」(於:墨田区)を開催。参加企業は17社、参加者は95名。補聴器、人工内耳、聴覚障害支援機器などを展示。
- ・【災害対策】都との協定書再締結により、6月に説明会を開催予定。
- ・【参政権】2/8(土)都知事選の政見放送ビデオ上映会を実施、参加者は19名。政党名と候補者名の放映時に流れる経歴の音声アナウンス部分にも手話通訳と字幕を付けるのが新課題。3/17の都選管との懇談会に向け準備中。港区区長選のハンコ投票や成年被後見人の選挙権回復の情報も求めたい。独自調査ではコミボードのPRは僅少、さらなる周知を要請したい。コミボードに「筆談をお願いします」「手話通訳をしてください」が欠落している、投票所に手話通訳者の配置をとの意見も。手話のできる立会人や職員のいる投票所も、僅かながらある。上映会に関して、日本経済新聞に掲載されたが、記者の理解不足か、誤解が生じるような記述だったので、訂正を求めよう対処したい。
- ・【教育】3/3「第26回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」について、全国協議会の役員と打合せた。4月に案内書配布、日聴紙5月号に掲載予定。
- ・手話言語法の取り組みを開始。区市で始動している地域もある。
- ・災害時や非常時、誰もがわかるアナウンスのしかた、手話ボランティアの配置、聴覚障害者自身の動き方などについて情報交換し、取り組みたい。

(4月7日)

- ・東聴連会長交代により、代表幹事委員も栗野会長となる。教育労働担当の春日さんも新委員。
- ・東聴連より、2014年度事業計画書・予算書が各団体に一部ずつ提供された。当面の予定は、5/17(土)午前は課題対策会議・午後は区市会長会議、5/25(日)定期評議委員会&公益法人社員総会。
- ・中難協は、3/26に「佐村河内氏の聞こえに関する問題についての声明文」を発表し、3/27(木)中途失聴・難聴者の聞こえの問題に関しての記者会見を行った。(詳細はHPに掲載)
- ・各団体の総会日程
要筆サークル連絡会:4/13(日)
東通研:4/20(日)午後。午前、鳥取県ろうあ団体連合会事務局長石橋氏の講演を開催。全要研東京支部:4/20(日)午前。今後、減災支援体制を構築予定。
登要会:4/20(土)午後 都サ連:4/29(火・祝)

- ・【災害】東京連合防火協会より、災害時支援用のベスト500枚の寄贈を受けた。オレンジ色で背面に「手話」の文字、前面に名札用の透明胸ポケット付き。各区市と中難協へ配布予定。
- ・【参政権】3/17(月)都選管(課長代理&係長が出席)と懇談。コミュニケーションボードのさらなる普及を依頼。各投票所に、手話のできる立会人や職員の配置の具現を目指したいが。
- ・【教育】8/2~3に開催する「第26回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」の速報第1号を発行。4月下旬には案内書を出す予定。700名の参加者を目標としている。
- ・3/15(土)手話言語法東京推進イベントは約50名の参加者。ヘルガ氏講演への関心が高く、選挙や議員活動への質問が多く出された。制定した法律をいかに活かすかが大切だとのこと。
- ・3/20(木)地域担当者会議にて、手話言語法請願についても説明。6/1~7/31を手話言語法推進行動月間として、全都的に取り組みを進めていく。
- ・東京都の意思疎通支援事業は、広域派遣コーディネイト分と団体派遣分が予算に計上された。
- ・次回会議は6月2日(月)、記録担当は都サ連。

(文責:委員 林)

参政権保障委員会報告(2014/3/17,4/21)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。

●都選挙管理事務局との懇談会

3/17に都庁にて、東京都選挙管理事務局と懇談会を行なった。先の選挙で、コミュニケーションボードが活用されている事例などについて意見交換を行なった。今後もコミュニケーションボードの設置の徹底や、手話ができる人の配置など、できる限り対応していきたいとの話だった。大変有意義な意見交換ができたと思う。

●選挙におけるマニュアルについて

投票所で障がい者にどう対応すべきか、ということについてのマニュアルが整備されていないことが分かった。いくつかの市区には、独自のものがあるらしい。また、横浜市には良いマニュアルがあるらしいので、それらを参考に、「投票所における障がい者対応マニュアル」を作っていきたい。とりあえず、たたき台的なものを作ってみる。

●東京青年会議所との懇談会について

当面、市区長選などの比較的小さな選挙はあるものの、大きな選挙がないので、青年会議所との懇談会は、青年会議所の担当が1年で交代してしまうため、あまり意味のないものになっている。今後、いつ懇談会をするのか、検討していきたい。

5月は19日の予定

(事務局 三村)